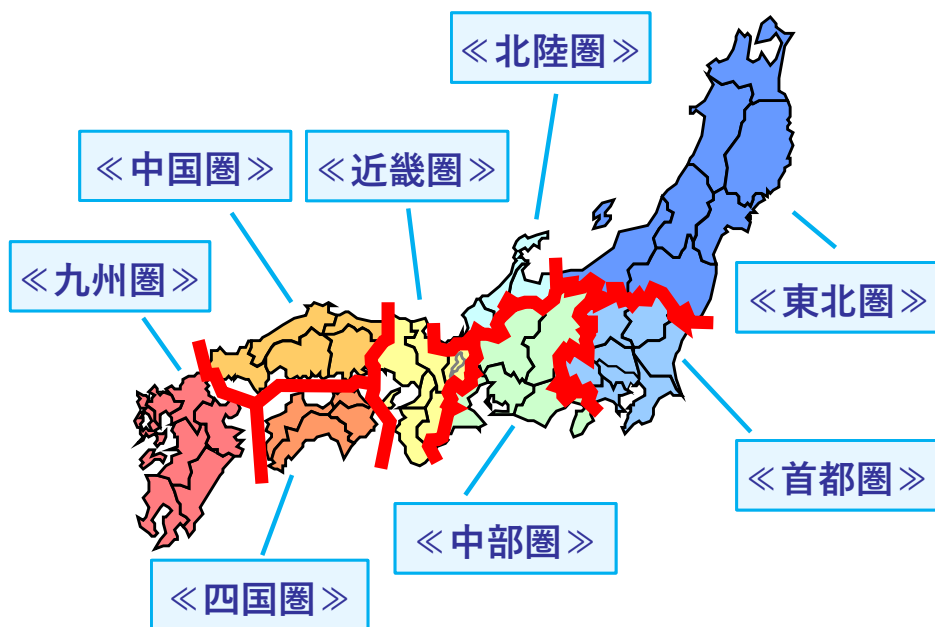


- **広域地方計画は、国土形成計画法（昭和25年法律第205号）第9条に基づき、全国計画（国土形成計画）を基本として、広域地方計画区域ごとに国土の形成に関する方針や目標等を定めるもの。**
- 広域地方計画区域は、東北圏、首都圏、北陸圏、中部圏、近畿圏、中国圏、四国圏、九州圏の8圏域。
（※）北海道、沖縄は、別の根拠法に基づき、それぞれ、北海道総合開発計画、沖縄振興基本方針・沖縄振興計画を有する。
- **新たな広域地方計画について、国の出先機関、地方公共団体、経済団体等で構成される各圏域の広域地方計画協議会が原案を作成。**
関係各行政機関の長への協議等を経て、**令和8年6月30日（火）、計画策定（国土交通大臣決定）。**

広域地方計画区域

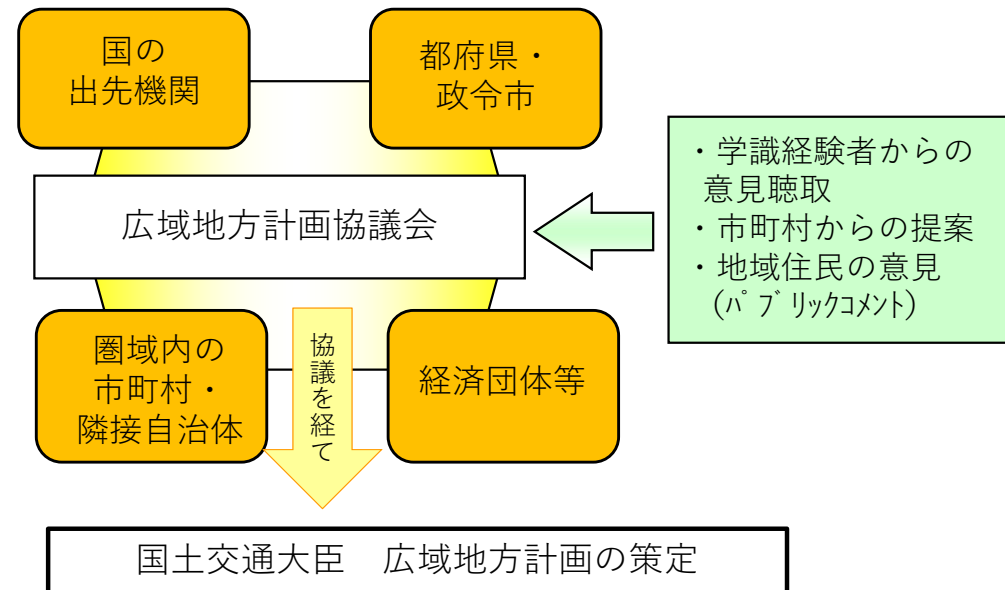


※北海道総合開発計画、沖縄振興計画とも連携して推進

広域地方計画

○国と地方の協働による広域圏づくり（大臣決定）

- ・国の出先機関、地方公共団体、経済団体等で広域地方計画協議会を組織
- ・計画の策定に向けて、各主体が対等な立場で連携・協力



新たな広域地方計画 (現状・課題、将来像)

【産業の強みについて】
 ・圏域ごとに強みのある産業について、「生産額」・「産業別修正特化係数」から整理。
 ・生産額が大きい産業は、域内にとどまらず域外へも販売している可能性が高い。
 ・産業別修正特化係数（次頁参照）により、全国平均と比較して地域に集積している産業を把握。
 出典：内閣府「地域経済循環分析用データ等の分析及び分析書式の検討等―補足資料―（平成29年）」をもとに作成

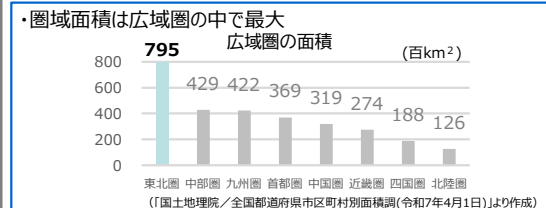
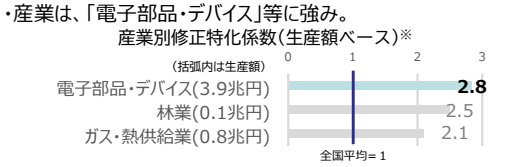
【凡例】
 高規格道路（供用中） 6車線 4車線 2車線 整備計画路線（未着工区間）
 高規格道路（事業中） リニア中央新幹線（建設中区間）
 高規格道路（調査中） リニア中央新幹線（未着工区間）
 既設新幹線 基本計画路線
 整備計画路線（開業区間） ミニ新幹線
 拠点空港 地方管理空港
 その他の空港 国際戦略港湾
 国際拠点港湾 重要港湾

東北圏

<現状・課題>

- 圏域面積は広域圏の中で最大。広大な土地や豊かな自然環境もいかし、半導体や次世代放射光施設等の先端産業拠点の形成が進められている。
- 他の広域圏に比べて人口減少率が高く、圏域全体にわたる生活サービスの維持が課題。また、東日本大震災からの創造的復興等が求められている。

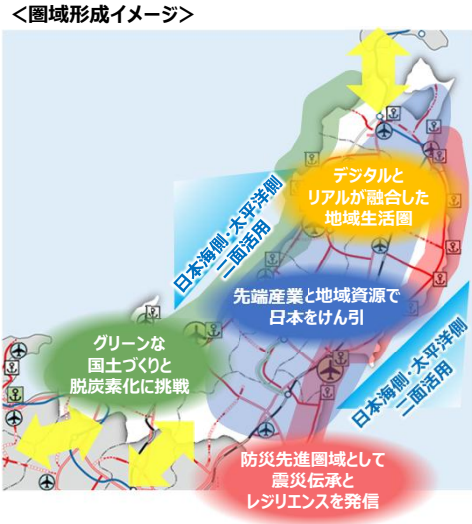
<圏域の特色>



・圏域人口は、過去10年間（2014～2024年）に約9.2%減少しており、他の広域圏と比べて人口減少率が最も高い。
 参考：次いで四国圏（約8.9%減）、北陸圏（約6.1%減）となっている。
 (総務省「人口推計（2014年10月1日現在、2024年10月1日現在）」)

<将来像>

東北圏から示す新たな選択肢
 ～課題を新たな価値に転換し、開かれた圏域へ～

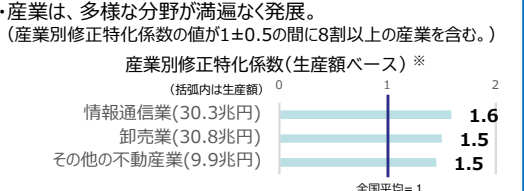


首都圏

<現状・課題>

- 国際空港・港湾など広域的な交通ネットワークが整備され、ヒト・モノ・カネ・情報が集積。
- 世界の中での我が国の首都圏の地位低下、都市と地方部の人口の地域偏在など、首都圏民による危機感の共有と取組への共感から始める参加・貢献が求められている。

<圏域の特色>



・圏域内の都県別の人口増減率（2024年（前年比））は、都市と地方で偏在。
 東京都：0.7%増
 南関東（埼玉県、千葉県、神奈川県）：0.01%減～0.08%増
 北関東（茨城県、栃木県、群馬県、山梨県）：0.62～0.66%減
 (総務省「人口推計（2024年10月1日現在）」)

<将来像>

危機感の国民的共有に基礎を置き、
 日本と地球の重要課題に果敢に立ち向かう
 ～対流型首都圏の更なる深化へ～

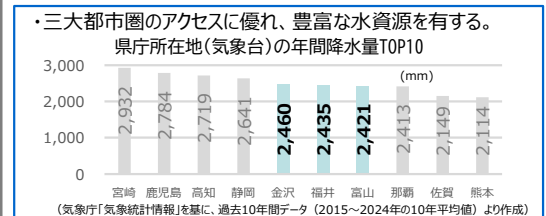
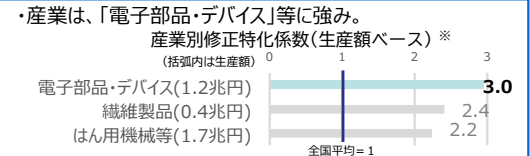


北陸圏

<現状・課題>

- 三大都市圏とのアクセス性に優れ、豊富な水資源を有しており、電子部品・デバイス関連の産業が立地。
- 中山間地域での過疎化等が進行。また、能登半島地震からの創造的復興等が求められている。

<圏域の特色>



・圏域内における高齢者割合が50%以上の集落数は、過去5年間（2019～2024年度）で、1.4倍に増加。
 2019年度：956（全集落の約29%）
 2024年度：1,331（全集落の約40%）
 (国土交通省、総務省「過疎地域等における集落の状況に関する現状把握調査（令和7年3月）」)

<将来像>

住心地・居心地よく、
 多彩な魅力を生かして
 躍動する北陸

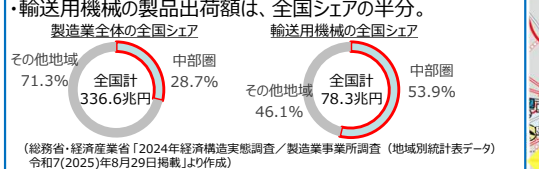
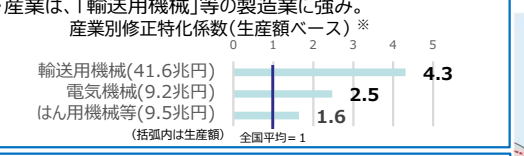


中部圏

<現状・課題>

- 輸送用機械の製品出荷額が全国シェアの半分を占めるなど、ものづくり拠点として経済発展に寄与。
- 都心部は、東京圏・大阪圏と比べ、居住面積が広いなど生活環境にゆとりがある一方で、中山間地域等において生活サービスの維持に向けた対応が必要。

<圏域の特色>



・都心部は、他の大都市圏と比べ、生活環境にゆとりがある。
 都心部から10km以内の一住宅当たり延べ面積（平均）
 名古屋圏：78㎡、東京圏：56㎡、大阪圏：64㎡
 ・生産年齢人口（15～64歳）は、2050年推計値（2020年比）で、圏域全体で3割減、中山間地域で4割以上減の地域もある。
 (総務省「令和5年住宅・土地統計調査」、国立社会保険・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」)

<将来像>

生活の質が高く
 持続的に成長する
 強靭な中部圏



(※)：環境省、(株)価値総合研究所「地域経済循環分析（2022年版Ver.9.1）」より作成。

新たな広域地方計画 (現状・課題、将来像)

(産業別修正特化係数(生産額ベース)について)
 ・圏域内の産業別生産額構成比を全国平均と比較し、貿易を考慮して補正したものを。
 ・同係数が1を超える産業は全国平均よりも強みのある(集積している)産業といえる。
 計算式: (地域における産業Aの地域内生産額シェア/全国における産業Aの国内生産額シェア)
 × (全国における産業Aの国内生産額シェア/全国における産業Aの国内需要額シェア)
 出典: 環境省「地域経済循環分析(令和8年2月)」をもとに作成

【凡例】
 高規格道路(供用中) 6車線 4車線 2車線 整備計画路線(未着工区間) 地方管理空港
 高規格道路(事業中) リニア中央新幹線(建設中区間) その他の空港
 高規格道路(調査中) リニア中央新幹線(未着工区間) 国際戦略港湾
 既設新幹線 基本計画路線 国際拠点港湾
 整備計画路線(開業区間) 重要港湾

近畿圏

<現状・課題>

- 加工技術等のものづくり分野の強みをいかし、医薬品製造出荷額が関東と同水準であるなど、医薬品、再生医療等の拠点が集積。
- 都心部から離れた地域など、生活サービスの維持に向けた取組が求められている。

<将来像>

KX (Kansai Transformation)
 ~まじわり、つながる、変革する関西~

<圏域の特色>

産業は、精密加工技術等の「はん用機械等」に強み。
 産業別修正特化係数(生産額ベース)*

産業	係数
はん用機械等(11.0兆円)	2.1
水道業(1.2兆円)	1.9
電気業(7.0兆円)	1.8
全国平均	1

<圏域形成イメージ>

<圏域の人口は、2050年推計値(2020年比)によると、2割減であり、大都市圏の中で最も高い。>

将来推計人口減少率

圏域	2020年	2050年
首都圏	1.00	0.93
中部圏	1.00	0.82
近畿圏	1.00	0.80

<圏域の特色>

医薬品製造出荷額が首都圏と同水準

圏域	出荷額(兆円)	割合
首都圏	182	20%
近畿圏	215	23%
中部圏	154	17%
その他	371	40%

中国圏

<現状・課題>

- 山陽地方では輸送用機械及び化学製品が製品出荷額の約4割。一方で、山陰地方では同率を電子部品・デバイス及び食料品が占めている。
- 小規模な集落が多い中山間・島しょ部では、生活サービス機能の確保が難しくなっており、地域の存続に向けた取組が求められている。

<将来像>

活躍人口の創出、地域資源が持つ力を最大限発揮し、あらゆるつながりを再構築・強化することで、持続的に成長させる

<圏域の特色>

産業は、「鉄鋼」、「化学」等に強み。
 産業別修正特化係数(生産額ベース)*

産業	係数
鉄鋼(3.0兆円)	2.1
石油・石炭製品(3.3兆円)	2.0
化学(5.0兆円)	2.0
全国平均	1

<圏域形成イメージ>

<圏域の特色>

山陽地方と山陰地方では、強みを有する製品が異なる。(製品出荷額のシェア4割)

山陽	山陰
輸送用機械 25%	電子部品・デバイス等 27%
化学 14%	食料品 12%
鉄鋼 14%	鉄鋼 10%
その他 47%	その他 51%

<圏域の特色>

中国圏は、居住地域が分散型の地域構造で、50人未満の小規模な集落数が7,238と、全圏域で最も多い。
 参考: 次いで九州圏(4,867)、東北圏(4,484)となっている。
 (国土交通省、総務省「過疎地域等における集落の状況に関する現状把握調査(令和7年3月)」)

四国圏

<現状・課題>

- 豊かな自然環境も生かし、木材、紙等の基礎素材型産業の製品出荷額のシェアが全国平均より多いが、時代に即した変革が求められている。
- 人口減少、過疎化等が進行しており、市民生活の維持に向けた取組が必要。

<将来像>

このまちで、暮らしたい ~誰もが活躍し、豊かに暮らせる四国~

<圏域の特色>

産業は、「パルプ・紙・紙加工品」等に強み。
 産業別修正特化係数(生産額ベース)*

産業	係数
パルプ・紙・紙加工品(0.8兆円)	4.2
水産業(0.1兆円)	2.9
林業(0.03兆円)	2.4
全国平均	1

<圏域形成イメージ>

<圏域の特色>

基礎素材型産業の製品出荷額のシェアが全国平均より多い。

圏域	基礎素材型産業	割合
全国	36%	
四国圏	52%	
その他	64%	
その他	48%	

<圏域の特色>

高齢化率(65歳以上人口割合)は、34.7%(2024年)であり、他の広域圏と比べて最も高い水準。
 参考: 次いで東北圏(34.0%)、中国圏(32.2%)となっている。
 (総務省「人口推計(2024年10月1日現在)」)

九州圏

<現状・課題>

- IC(集積回路)の生産額が過去10年増加傾向で推移し、圏域内で半導体関連産業の投資が進捗。
- 離島・半島地域を多く抱えており、生活必需品の安定供給などが課題。

<将来像>

アジアの成長センター『アイランド九州』 ~個性・魅力を発揮しながら、ひとつにまとまり発展し、誇れる九州~

<圏域の特色>

産業は、「電子部品・デバイス」等に強み。
 (生産額及び産業別修正特化係数の両面から評価)

産業	係数
水産業(0.4兆円)	2.8
ガス・熱供給業(1.1兆円)	2.7
電子部品・デバイス(3.3兆円)	2.2
全国平均	1

<圏域形成イメージ>

<圏域の特色>

IC(集積回路)生産額は、過去10年増加傾向。九州圏の集積回路生産額推移

年	生産額(兆円)
2014年	0.62
2019年	0.76
2024年	1.31

<圏域の特色>

海岸線の延長は、全国比で約3割を占め、離島・半島・中山間地域の占める割合が高い。
 ・同地域の人口は、2050年推計値(2020年比)で、50%以上減少すると推計されている。
 (国土交通省「海岸統計(令和6年度版)」、国土交通省「メッシュ別将来人口推計」)

(※): 環境省、(株)価値総合研究所「地域経済循環分析(2022年版Ver.9.1)」より作成。

○ 新たな広域地方計画については、各圏域の文化・産業等の地域資源の強みを最大限いかし、陸海空の総合交通ネットワークの機能強化による「シームレスな拠点連結型国土」の形成と、日常の暮らしに必要なサービスが持続的に提供される「地域生活圏」の取組を面で繋ぐため、各圏域の経済界等の民間主体と行政が有機的に連携し、都道府県を越える広域圏内外の交流・連携を図る。

中国圏

活躍人口の創出、地域資源が持つ力を最大限発揮し、あらゆるつながりを再構築・強化することで、持続的に成長させる

強み <プロジェクト例> **地域生活圏**

隣接圏域間のリターン確保も見据え重層的な交通ネットワーク形成による経済圏域の形成

エネルギーの地産地消による地域循環や地域活動の活性化

Local Energy

ローカルエナジー (株)

(例) CATVのネットワークを活用したエネルギーの地産地消による地域資金循環 (鳥取県米子市・境港市)

近畿圏

KX (Kansai Transformation) ~まじわり、つながる、変革する関西~

強み <プロジェクト例> **地域生活圏**

万博のレガシーを継承し、創業、再生医療等のイノベーション創出

地域課題解決のためのスタートアップや新事業の創出

日揮ホールディングス (株)

一般社団法人cosshiga

(例) 医薬品等の用途展開に向けたバイオものづくりの研究拠点整備 (兵庫県神戸市)

(例) 琵琶湖を守る環境意識の高い地域性をいかした、産官学民の中間活動体の組成 (滋賀県守山市)

北陸圏

住み心地・居心地よく、多彩な魅力を生かして躍動する北陸

強み <プロジェクト例> **地域生活圏**

三大都市圏とのアクセス・良質で豊富な水資源を生かした電子デバイス街道の形成

人口減少による公共交通衰退等の地域課題の解決

加賀東エレクトロニクス (株)

(例) EV素材となるパワー半導体工場の新設 (石川県能美市)

(例) マイカーを活用した共助型公共交通「ノッカルあさひまち」 (富山県朝日町)

東北圏

東北圏から示す新たな選択肢 ~課題を新たな価値に転換し、開かれた圏域へ~

強み <プロジェクト例> **地域生活圏**

次世代技術の研究開発拠点のネットワーク形成

ヒトと経済の循環を高め、持続的に暮らしを守る体制づくり

3 GeV高強度放射光施設 NanoJerasu

NPO法人 まりよしま ネットワーク

(例) 物質をナノレベルまで可視化できる世界最高水準の放射光施設「ナノテラス」の利活用 (宮城県仙台市)

(例) 除雪等の地域課題を共助による体制づくりで解決 (山形県川西町)

九州圏

アジアの成長センター『アイランド九州』 ~個性・魅力を発揮しながら、ひとつにまとまり発展し、誇れる九州~

強み <プロジェクト例> **地域生活圏**

豊富な地下水等を背景に半導体製造拠点等を担う「新生シリコンアイランド九州」の構築

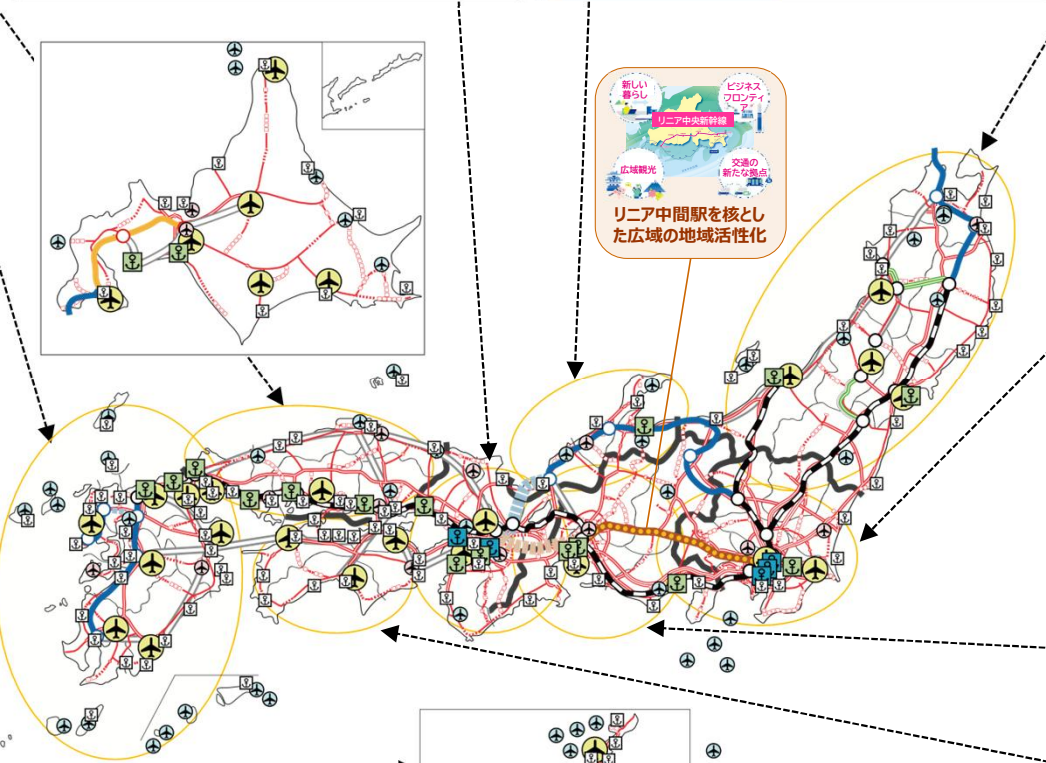
離島地域の持続的な暮らしを支える生活必需品の安定供給体制の構築

撮影九州地方整備局

そらひつな (株)

(例) T S M C 熊本工場 (J A S M) (熊本県菊陽町)

(例) 医薬品のドローン配送 (長崎県五島市)



首都圏

危機感の国民的共有に基礎を置き、日本と地球の重要課題に果敢に立ち向かおう~対流型首都圏の更なる深化へ~

強み <プロジェクト例> **地域生活圏**

リニア中間駅から広がる次世代技術のビジネスフロンティア形成

官民共創ビジョンの共有とまちなかの活性化

米倉山電力貯蔵技術研究サイト

めぶく 前橋市

(例) 太陽発電による電力と水から水素を製造する施設「米倉山電力貯蔵技術研究サイト」 (山梨県甲府市)

(例) 空洞化するまちなかを民間主導のビジョンづくりと資金で活性化 (群馬県前橋市)

北海道 (参考)

※第9期北海道総合開発計画 (令和6年3月閣議決定) に基づき推進

共に北海道の未来を創る

強み <プロジェクト例> **地域生活圏**

広大な土地を活用した経済安全保障に貢献する先端産業拠点の形成

過疎・高齢化が進む地域課題にデジタルと共助で対応

半導体工場ランドラズ

Meet Community

(例) 次世代半導体製造拠点の建設 (北海道千歳市)

(例) 共助の仕組みの可視化・機能化「Meet Community」 (北海道厚真町)

中部圏

生活の質が高く持続的に成長する強靱な中部圏

強み <プロジェクト例> **地域生活圏**

ものづくり地域の電力源を転換する水素・アンモニアサプライチェーンの形成

地域内外の人材による地域の課題解決

JERA

(例) 商用火力発電所における燃料アンモニアへの転換 (愛知県碧南市)

(例) 地域金融機関による企業と二地域居住者等を含む地域内外人材とのマッチング (静岡県三島市・長泉町、神奈川県根府川町)

沖縄県 (参考)

※新・沖縄21世紀ビジョン基本計画 (沖縄振興計画) (令和4年5月沖縄県) に基づき推進

これからの10年「新時代沖縄」

強み <プロジェクト例> **地域生活圏**

航空機整備事業による航空関連産業クラスターの形成

ITを活用した高齢者まもり体制の構築

MRO

(例) 航空機整備施設 (沖縄県那覇市)

(例) 地域ぐるみでの遠隔みまもりが可能となる社会体制構築 (沖縄県宜野湾市等)

【凡例】

- 高規格道路 (供用中) 6車線 4車線 2車線
- 高規格道路 (事業中)
- 高規格道路 (調査中)
- 既設新幹線
- 整備計画路線 (開業区間)
- 整備計画路線 (建設中区間)
- 整備計画路線 (未着工区間)
- リニア中央新幹線 (建設中区間)
- リニア中央新幹線 (未着工区間)
- 基本計画路線
- ミニ新幹線

拠点空港 地方管理空港 その他の空港 国際戦略港湾 国際拠点港湾 重要港湾

※本地図は我が国の領土を網羅的に記したものではない。
 ※高規格道路ネットワーク図については令和8年4月7日時点の情報。
 また、首都圏、中部圏、近畿圏、札幌、仙台、広島、北九州、福岡都市圏については、一部の路線を省略している。
 ※写真は、各社HP等より作成。

四国圏

このまちで、暮らしたい ~誰もが活躍し、豊かに暮らせる四国~

強み <プロジェクト例> **地域生活圏**

豊富な水源や資源を生かした紙関連産業の高度化等の素材産業圏域の形成

市民生活を支えるサービスクラスターの構築

阿波製紙 (株)

(例) 海水淡水化に利用される逆浸透膜用支持体の生産拠点整備 (徳島県小松島市)

(例) 父母ヶ浜の魅力を生かした、地域内外・事業横断の連携・共助型サービス構築 (香川県三豊市)